



香川の野鳥ファイル No. 1 ムラサキサギ

★はじめに ーなぜ記録が必要か

日本では現在、542種の野鳥が公式記録として記録されています(※1)。ただこれは厳密すぎるとの意見もあり、人によっては例えば624種を「日本産鳥類」とすることもあります(※2)。

では、香川県では何種が観察されているのでしょうか。調べてみると、1977年は227種(※3)、平成5年には286種(※4)、平成8年には241種(※5)となっています。数が減っているのは、曖昧な記録を除外したためですから、基本的に最低240種と考えればいいでしょう。しかし、いつ・どんな種類の野鳥がいたかというのは、とても大事なことです。それが確定していないのは、どういうことでしょうか。

さきほど「曖昧な記録」と言いました。多くの場合、珍しい野鳥に出会っても、1人で観察し、写真も撮影できていない場合は、後から第三者が確認する事はできません。そのため詳しく観察状況を報告しておかなければ、せっかくの記録も、「詳細不明」とされてしまう場合があるのです。またそれ以前に、どこにも報告されないままの記録がたくさんあります。しかし珍しい鳥だけでなく、現在の「普通の」野鳥も、私たちしか観察できませんが、それらも後から調べることは不可能です。香川の野鳥を守る会では、現在の観察記録をできるだけきちんと残す事を重要な事業と考えており、来年度から、観察記録の収集を始める予定です。

ただ、野鳥は待つはくれません。そこで第1号として、昨年末に渡来したムラサキサギについて記録しておきたいと思います。皆さんもできるだけ観察記録をつけ、本会へ報告してください。

★ムラサキサギ記録

種名	ムラサキサギ
観察地	丸亀市金倉町金倉川
羽数、性・齢	1羽(若)
観察年月日	2002年11月23日
(初認日・初認者)	※未調査
(終認日・終認者)	※未調査
観察者	福丸氏
報告者	古市幸士氏
観察備考	※特記事項なし



★補足説明 (文責: 香川の野鳥を守る会事務局)

ムラサキサギは南西諸島に生息し、特に八重山諸島で普通。ただし九州以北でも稀に渡来し、北海道や八丈島でも記録がある(※1)。香川県では年月日不明ながら、1982年以前に2回(「高松市と三豊郡国市池」※6)の記録があるほか、1984年10月に丸亀市宮池(※5)、1987年7月に三木町女井間池(※5)、2000年12月～1月に琴南町土器川(※7)の記録があり、確認できた範囲では過去5回渡来している。なお、うち1984年、2000年の記録はともに若である。近県では愛媛県松前町重信川での1983年10月の記録があるが、出現頻度からすると、香川県はよく渡来する方と言えそうである。

※1 「日本鳥類目録第6版」、日本鳥学会、2000 / 2 「日本の野鳥590」、真木&大西、2000
 ※3 「香川県鳥類目録」、香川野鳥の会、1977 / 4 「香川県のとりとけもの」、香川県、1993
 ※5 「香川の野鳥ウォッチングガイド」、日本野鳥の会香川県支部、1996
 ※6 「四国の野鳥誌」石原保、1982 / 7 「かいつぶり」日本野鳥の会香川県支部、2001. 2